

簿記	売上高
売上原価	売上総利益

<p>売上高(うりあげだか)とは、企業会計で用いられる収益区分の1つで、売上ともいう商品やサービスの提供など、企業の主たる営業活動によって得た収益をいう。業種により特有の科目を用いる場合もある(建設業の「完成工事高」など)。</p>	<p>簿記(ぼき)とは、ある経済主体が経済取引によってもたらされる資産・負債・純資産の増減を管理し、併せて一定期間内の収益及び費用を記録するための記帳方式であるまた、最も一般的な簿記である複式の商業簿記を指して単に簿記と称する場合</p>
<p>売上総利益(うりあげそうりえき、gross margin)とは、売上高から売上原価を差し引いたもの、一般には「粗利」(あらり)と呼ばれる 概要 売上原価は、売上に対応する原価なので、売上総利益も同様に売上に対応する利益ということになる。</p>	<p>売上原価(うりあげげんか)とは、企業会計で用いられる費用区分の1つ財やサービスを生み出すために直接必要とした経費の総称である。概要 損益計算書の費用の部に計上される科目群の総称である。一般に売上高に連動して費用がかかる</p>